

第1問 次の中学校学習指導要領（平成29年3月）「技術・家庭」の一部を読み、問1～問3に答えなさい。

第2 各分野の目標及び内容

（略）

〔家庭分野〕

1 目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（略）

(2) 家族・家庭や地域における生活の中から 課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。

(3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、①家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

（略）

3 内容の取扱い

(1) 各内容については、生活の科学的な理解を深めるための②実践的・体験的な活動を充実すること。

問1 空欄に当てはまる語句として、正しいものを選びなさい。

No. 1

- ア 生涯を見通して
- イ 問題を見いだして
- ウ 社会に見られる
- エ 生き方に関する

問2 ①——部について、中学校学習指導要領解説（平成29年7月）「技術・家庭編」に示されている内容として、正しいものを選びなさい。

No. 2

- ア 少子高齢社会の進展に対応し、特に、高齢者などとの関わり方について理解し、適切に関わることが大切である。
- イ 男女が協力して、家庭や地域の生活を主体的に創造する資質・能力を育成することが大切である。
- ウ 家庭生活は、家族自身の主体性により営まれてはじめてその機能を発揮することを認識させ、互いに協力して生活を創造しようとする意欲へとつなげることが重要である。
- エ 家庭や地域の生活の中で生じる課題を、生活活動や生活資源と関わらせながら、主体的に解決する力が必要である。

第2問 次の中学校学習指導要領解説（平成29年7月）「技術・家庭編」の一部を読み、空欄に当てはまる語句として、正しいものを選びなさい。

No. 4

第2章 技術・家庭科の目標及び内容

（略）

第3節 家庭分野の目標及び内容

（略）

2 家庭分野の内容構成

（略）

(2) 内容の示し方

（略）

④ の一層の充実

については、各内容に位置付け、生徒の興味・関心や学校、地域の実態に応じて、「A家族・家庭生活」の(4)、「B衣食住の生活」の(7)及び「C消費生活・環境」の(3)の三項目のうち、一以上を選択して履修させることとしている。その際、他の内容と関連を図り、実践的な活動を家庭や地域などで行うことができるよう配慮することとしている。

ア 「学校家庭クラブ活動」

イ 「ホームプロジェクト」

ウ 「生活の課題と実践」

エ 「課題研究」

第9問 身近な製品に付いているマークについて、マークとその説明の組合せとして、正しいものを選びなさい。

No.19

	マーク	マークの説明
ア		電気用品安全法の規準を満たす製品に付けられる。
イ		日本農林規格を満たす有機農産物と加工食品等に付けられる。
ウ		日本産業規格に適合する製品に付けられる。
エ		一般社団法人日本玩具協会の玩具安全基準に合格した玩具に付けられる。